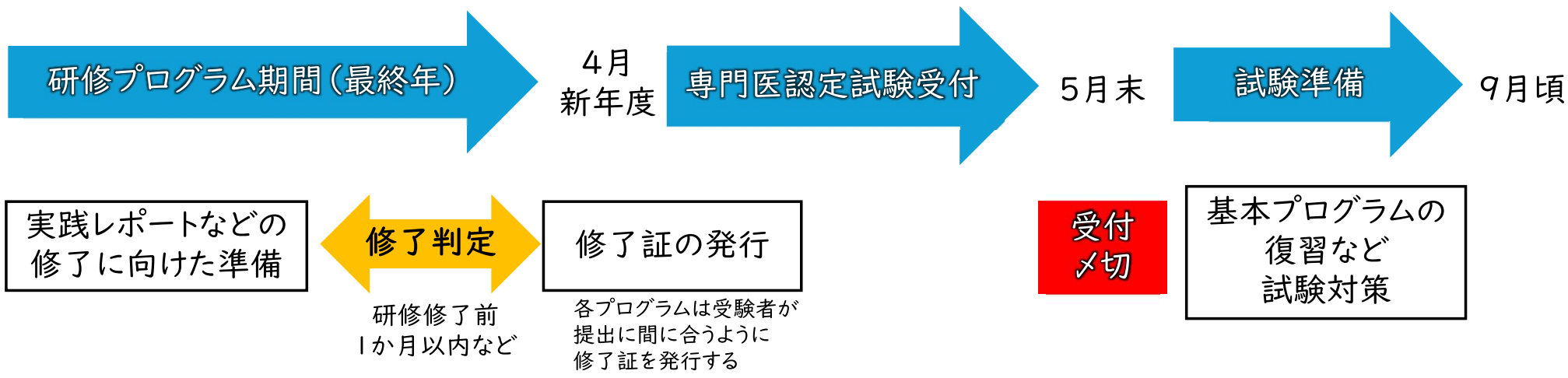


社会医学系専門医認定試験までのタイムライン

資格A



- 修了要件(例)各プログラムで確認
 - 1つの主分野及び2つの副分野の実践経験
 - 各論的課題全 22 項目中経験した3項目以上についての実践経験レポート合計5件以上
 - 基本プログラムの履修
 - 関連学会の学術集会での発表または論文発表
 - 研修手帳への記載とフィードバック
 - その他担当指導医による目標到達確認

- 提出書類(電子媒体での提出を推奨)
 - 専門医認定試験受験申請書
 - 専門研修プログラム修了認定書
 - 指導医評価表
 - 実践レポート 5件以上
 - 専攻医手帳
 - 決済完了メールor受験料振込明細書コピー

- 専門医認定試験
 - 1日目
 - 任意の会場CBT
 - 2日目
 - 指定会場でグループ討論及び面接試験
- 合格後対応が必要です
 - ①認定登録料の支払い
 - ②登録申請書の提出

社会医学系専門医認定試験までのタイムライン

資格B

●社会医学系専門医認定試験資格Bの受験資格は、以下の要件を全て満たす者とする。

※事前に近隣のプログラム等の指導医と連絡を取る必要有

1. 医師免許取得後 10 年以上経過
2. 臨床研修 2 年修了者 (2004 年以降に医師国家試験を合格した者に限る)
3. 社会医学系専門医協会構成学会・団体の会員・所属歴が3年以上
4. 基本プログラム (7 科目×7時間=49 時間) を履修している
5. 臨床系の専門医、指導医又は認定医を有している (過去に専門医、指導医又は認定医を有していた場合も可)
6. 協会構成8学会の学術大会及び公衆衛生情報研究協議会研究会での発表 (筆頭演者に限る) または協会構成8学会誌への論文発表 (筆頭著者に限る) が1件以上ある。(書類提出時に完了していること)
7. 以下の (1 から (3) の全てを含む社会医学系活動の経験が、常勤換算で通算 5 年以上ある
 - (1 行政・地域分野または産業・環境分野でパートタイムの業務を経験している
 - (2 行政・地域分野または産業・環境分野の学術集会への参加経験がある
 - (3 行政・地域分野または産業・環境分野の委員会への参加経験がある
8. 実践レポートを医療分野5件、行政・地域分野5件、産業・環境分野5件の計15件以上を作成し、社会医学系専門医・指導医のチェックを受けている。

4月

専門医認定試験受付

5月末

試験準備

9月頃

受付
メ切

基本プログラムの
復習など
試験対策

● 提出書類 (電子媒体での提出を推奨)

- ・ 専門医認定試験受験申請書
 - ・ 指導医評価表
- ※プログラムに所属していない場合、ご自身の身近な社会医学系指導医の先生にご作成頂いてください
- ・ 基本プログラムのE-ラーニング受講レポート49時間分 (7科目分を1枚に記載したもの) 全7枚
 - ・ 実践レポート 15件以上
 - ・ 決済完了メールor受験料振込明細書コピー

専門医認定試験

- 1日目
任意の会場CBT
- 2日目
指定会場でグループ討論及び面接試験

合格後対応が必要です

- ①認定登録料の支払い
- ②登録申請書の提出